

広報さくら

◆◆第95号◆◆

平成25年3月2日

発行:日本大学明誠高等学校後援会



主な内容

- 1年を振り返って 学校長 2
- 1年を振り返って 会 長 3
- 誠祭バザー・お茶処報告 4
- 夏季研修会報告 5
- 体育祭 6～8
- 強歩大会 9～10
- 強歩大会支援活動報告 11
- 後援会活動報告 12

「ある朝の出来事」



「光陰矢の如し」とは使い古された言葉ではありますが、今年の一年は特に早く感じました。月日の過ぎることの速さを、改めて感じている今日この頃であります。

もう間もなくすると、上野原の段丘にも春が訪れて桜が満開になります。新しい制服の新入生が入ってきます。厳しい冬であればなおさら、春の到来が本当にうれしく感じるものです。その季節がすぐそこに来ております。

日頃は、後援会の皆様におかれましては、本校の教育推進に際しまして、ご協力とご理解を賜り、また役員の皆様には、後援会の運営などにご尽力いただき、衷心より感謝申し上げます。一年を振り返ってということで、原稿の依頼をいただきました。ご挨拶を兼ねまして、嬉しかったことを書かせていただきます。

ご承知のとおり、本校は自然豊かな環境の中で教職員と生徒が一体となって、充実した学園生活を送っております。校舎の周りには、桜のほかに梅や銀杏や柚子や紫陽花等々数え切れないほどの木々や草花に囲まれております。春には花が咲き、夏には若葉茂り、秋には落ち葉が舞い、そして頬や耳に当たる風が痛い冬がきます。そんな四季の中で、登校してくる生徒の様子を、挨拶を交わしながら見ています。

枯葉が舞う時期になると、毎朝事務長が箒を持って先陣を切り、我々が手伝って玄関の周りの落ち葉を掃きます。ところが、今年はその様子が少し変わりました。11月の初旬から掃き始めますが、ある朝、女子生徒2名が恥ずかしそうに我々のところへ来て、お手伝いをしたいと申し出てくれました。昨年まではなかったことです。聞くところ1年生で運動部のマネージャーをしているとのこと。そして、さらに数日後、別の運動部の男子生徒数名が、いつも試合の応援に来てくれる感謝の気持ちを表したい、ということで掃除に

参加してくれました。若い働き手が多いことは助かることで、朝の少しの時間で、見る見る玄関の周りがきれいになっていきます。こんな落ち葉掃除の様子が暫く続きました。私は日課として登校すると雑務を片付けてから玄関へ出て行くのですが、少し遅れると箒が足りなくなり生徒たちの掃除の様子を見ていることがたびたびありました。寒い朝ですが、正直な気持ち、心が温かくなり、嬉しく楽しい掃除の時間でした。今年の秋は、いつもと違うすがすがしいものとなりました。12月に入り、すっかり落ち葉がなくなって、いつもの登校風景に戻りました。また、こんなこともありました。毎朝登校途中で、道すがらごみを拾って来る生徒たちがおります。ある人から「我々もそのことを見ております。一市民ですが」という前置きで、「すばらしい生徒さんたちです。」とお褒めの手紙を私宛に書いて送っていただきました。些細なことかもしれませんが、こういう生徒がやがて大人になったとき、立派な社会人として成長してくれるものと確信しております。チーム「日大明誠」の一員として日々自覚を持って学校を盛り上げてほしいと生徒たちに話をしています。徐々にですが、このような生徒が出てきてくれることは、教育に携わっている者にとって、また日大明誠にとって、嬉しいことであります。

結びになりますが、このような行いはとてもすばらしいことです。これからも本校の伝統として長く続いてほしいと願っております。これも一重に、後援会の皆様の日頃のご家庭における教育と先生方の普段からの指導の賜物と感謝を申し上げてご挨拶いたします。



「Let's Begin. とにかく何かを始めよう。」

平成24年5月の定期総会において会長に就任した折に、ご挨拶の最初にお話させて頂いた言葉です。

時の過ぎるのは早いもので、当該後援会広報誌が発行されるころには会長就任時から1年が経とうとしております。

「学校のお役にたつ様な後援会運動が出来たのか。保護者として子供たちにいい環境を提供できたのか。」など、今となれば様々な部分での反省事項が出て参ります。しかし、物事をあまり深く考えずに、『とにかく何かを始めよう』をテーマに運動して来ました本年度の後援会運動も、もう少しで全ての事業が終了致します。学校を支援する事を目的とした後援会では有りますが、自立した活力ある後援会運動を行えたのは、学校長をはじめとした教頭先生、事務長、経理長、教職員の皆様、及び学校関係者の方々のご理解、ご協力があったからだと思います。この場をお借りしてお礼をさせていただきます。本当に有難うございました。

さて、この1年の事業を振り返りますと、誠際におけるバザーとお茶処の開催を致しました。バザーの商品は例年並みに集めることができました。野球部やサッカー部の保護者には多大にご協力頂きました。バザーによる売り上げは学校とも相談した上で図書費に利用したいと検討中です。沢山の地元の方がバザーに訪れ、交流をはかることも出来ました。

次に研修部の企画による日本大学のオープン

キャンパスへの参加を致しました。本校のアピールと大学の見学と云う、相互理解を目的としたのがこの事業です。本年は三島市に在ります日本大学国際関係学部へお伺いいたしました。大学からは学部長をはじめ、大きな歓迎を受け事業の目的は達成できたと感じています。この事業は来年度以降も必ず継続して頂きたいと思ひます。

この原稿を作成しています現在、これから始まる事業としては競歩大会の支援事業と謝恩会の開催があります。競歩大会支援事業はコース上での危機管理と子供たちとのふれあいを事業の目的としています。コース上の生徒を励ますことと、危険因子の事前回避、ゴールした生徒にトン汁をふるまう事で生徒との交流を図ります。

最後の事業として、3月2日の卒業証書授与式後に行われる謝恩会は3学年の保護者より、お世話に成った先生方に対して感謝の気持ちをお伝えするために開催されます。現在は開催に向けて準備に追われていますが、この広報誌が発行される頃には盛大に行われているものだと思います。

結びですが、いたらない会長ではありましたが後援会運動に多大なるご尽力とご協力を頂きました全ての学校関係者に対する改めての感謝と、後援会関係各位の皆様に労いと感謝の気持ちを込めご挨拶とさせていただきます。

今後の明誠高校と後援会の更なる発展をお祈りいたします。一年間有難うございました。



平成24年6月30日、7月1日両日の誠祭において、後援会主催である恒例のバザー、お茶処を開催致しました。

数ヶ月前からバザー品の提供依頼文を配布し、お願いに回り準備を進め、誠祭前日に汗をダラダラ垂らしながらの値付け、テント設営、お茶処配置等々、そして誠祭両日にも多くの後援会役員、委員の皆様にお手伝い頂きました。延べ総人数140名のたくさんの方々の参加により、無事終了することが出来ました。

また、懸念されておりましたバザー品は、多くの関係者様からご提供頂きました。特に野球部、サッカー部の保護者の方々から数多くの善意の品をご提供頂きまして、例年と同様に活気有るバザー会場とすることが出来ました。

後援会主催のバザー運営の目的は、日頃生徒が通っている通学路等の治安環境を守ってくださっている地元地域の皆様への感謝の気持ちから開催を続けております。

毎年恒例となりました感謝のバザーに、今年も地域の方々が早くから来校され、たくさんの品物

を“毎年来ているのよ”と楽しみながら購入して頂きました。

お茶処でも、ちょっと一休みとご利用頂きまして売上協力頂きました。

また、バザー会場でのことですが、販売担当の委員さんの中にはだんだんと地域の方との会話にも慣れ、まるで商売人になったかのように赤ペン片手にお客さんとの価格交渉を楽しんでおりました。

地元の方々との交流と言う意味では少しはお手伝い出来たのではないかと思います。

毎年恒例となっておりますこの事業を地域に根ざした学校の交流の場として、また後援会の“TEAM日大明誠”の絆の場として続けて頂きたいと思います。

最後に今回のバザー及びお茶処の売上金は、強歩大会支援時のおにぎり購入等に充てさせて頂きます。

保護者会員の皆様にはご理解、ご協力頂きましたことを感謝致しましてお礼申し上げます。有り難う御座いました。



日本大学国際関係学部・日本大学三島高等学校・中学校 見学

平成24年7月21日(土)後援会 委員・役員の研修会として日本大学国際関係学部を見学することになりました。

学校側から橋都校長先生はじめ9名、大学側から2名総勢70名の参加がありました。(ご夫婦での参加も多数ありました。)

当日は、貸切バス2台にて八王子駅発と日大明誠発が談合坂パーキングで合流、中央道富士経由で国際関係学部に向かいました。渋滞もなく約2時間半で現地に到着しました。バスの中では、八王子より同行した大学の太田正文事務局次長と和やかな雰囲気の中現地に向かいました。大学周辺は緑も多くまた、駅前校は駅から1分の位置にあり素晴らしい教育環境にありました。また、到着すると先生方による素晴らしい対応に驚かされました。

説明会では、学部長による話に始まり各部・コースの説明のなかで新しい留学システムなどのはなしがあり参加されていた方々も感じたものがあったと思います。

三島大社見学と昼食にむかう班とにわかれてし

まいましたが、「うなよし」での昼食会では後援会役員のより一層の交流を図ることができたと思います。また、国際関係学部(三島市)の素晴らしい教育環境を体験することができました。

最後に三井アウトレット御殿場で少ない時間でしたが自由散策し帰路につきました。

全行程が終わり八王子駅で解散後、自由参加による意見交換会および反省会をおこないましたところ今日1日の疲労があるにもかかわらず多数参加いただきました。会場では、大学の対応や環境の素晴らしさが話題となっていました。これも、明誠の校長先生や先生方のお力だと思いました。忙しい日程でしたがとても良い研修会だったと思います。

バスの乗り換えがあつたり忙しい日程にもかかわらず参加いただきました皆様のご協力により予定時間通り進行することができたこと、心から感謝申し上げます。昨年に続き、本年度研修会も無事、有意義に終えることができまして有難うございました。





開会式



準備体操



80m走



二人三脚



玉入れ



大縄跳び



障害物競走





棒倒し



全員リレー



部対抗リレー



応援合戦



綱引き



保護者の応援



ムカデ競争



騎馬戦



台風の日



棒引き



色別対抗リレー



閉会式





本年度の強歩大会は2月23日(土)に行われました。今年は例年に比べて雪の日も多く、路面の残雪や大会当日の天候も憂慮されましたが、寒いながらも好天のもと、無事に開催することができました。

私たち実行委員会は野球部とサッカー部の保護者の皆様にご協力をいただきながら、先生方とともに、生徒たちが一所懸命に走る行程で安全確保のための誘導や励ましの応援を行い、大会を安全かつ明るく盛り上げることができました。また、生徒たちがゴールした後は、恒例の豚汁を用意し、完走を慰労しつつ寒中の暖をとってもらいました。

この日のための準備に実行委員会が取り組んだのは、2ヶ月以上前からです。地元・上野原のお母様方を中心に食材を調達しつつ、上野原ふの味付けの豚汁を1,000食用意するために何度も話し合いを重ねました。大会前日にも大勢の役員の皆様にお集まりいただき、テント張りや器材の準備、調理の仕込みなどを行いました。その甲斐あって、大会後には大変おいしい豚汁をふるまうことができたことは、大きな喜びです。

14kmを走り終えた生徒たちも、おにぎりを頬

張りながら温かい地元の味の豚汁に舌鼓を打ち、疲れを吹き飛ばすことができたようでした。

生徒たちにはこれからも健やかに成長し、私たちくらいの年齢になった頃にも良き思い出として、この大会を心の片隅にとどめておいてくれたなら嬉しいな、などと思いながら片付けに奔走し、強歩大会支援事業は終了いたしました。

この強歩大会では、日頃あまり目にすることができない子どもたちの学園生活を垣間見ることができたとともに、トップを目指して懸命に走るひたむきな表情や、はたまた楽しそうに走る笑顔の数々から、自分たちの青春時代を思い起こすこともできたという思いです。

末尾になりますが、大会の支援におきましては、後援会の役員の皆様をはじめ、野球部、サッカー部の保護者の皆様に、寒い中、ご協力をいただき、ほんとうにお疲れ様でした。また、運営にご尽力くださった先生方に、厚く御礼申し上げます。私たち保護者にも良い思い出となった一日でした。関係者の皆様には、これからも後援会活動にご理解、ご協力をいただけることをお願いし、強歩大会支援事業の報告とさせていただきます。



平成24年度 後援会活動報告

平成24年

- 5月 後援会定期総会
第1回役員会
- 6月 第2回役員会
第1回委員総会・学年別委員会
誠祭バザー・お茶処 準備
- 6月30日・7月1日 誠祭バザー・お茶処 実施
- 7月 「広報さくら」発行 94号
後援会研修会(国際関係学部訪問)
- 9月 祭典パトロール
第3回役員会
中部私学研修会
- 10月 体育祭
私学の集い
- 12月 第4回役員会
第2回委員総会・学年別委員会

平成25年

- 1月 賀詞交歓会
- 2月 強歩大会豚汁 準備
強歩大会豚汁 実施
- 3月 卒業式・卒業謝恩会
「広報さくら」発行 95号
- 4月 入学式
第5回役員会
- 5月 後援会定期総会

～編集後記～

今年度も無事に「広報さくら」を発行出来ました事を、広報部一同心より感謝申し上げます。
また、お忙しい中原稿をお寄せ下さった先生方、後援会役員の皆様、発行にあたりご協力頂いた方々に部員一同よりお礼申し上げます。

今後とも、皆様のお手元により良い広報誌をお届け出来るよう、紙面作りに努力し励んでいきたいと思えます。

皆様からのご意見、ご感想、ご協力、ご要望等ありましたらお知らせいただければ今後の参考にさせていただきます。

ありがとうございました。

(広報部員一同)